

環境に配慮したイベントを実施するためのチェックシート(エコチェックシート)

イベント名			
実施期間			
開催場所			
参加者数	予定:	人	実績:
主催者			
連絡先			

【計画欄】
「○」:実施を予定するもの
「×」:必要性は認められるが実施できないもの
「-」:該当しないもの

【結果欄】
「○」:実施できたもの
「△」:一部は実施できたもの
「×」:実施できなかったもの
「-」:該当しないもの

環境配慮項目 (「※」が付いている項目は、内容の説明や例、参考資料などを指針に記載しています。)		計画	結果
1 環境配慮の体制整備	① 環境配慮に関する共通認識を持てるよう、エコチェックシートを活用して環境配慮に取り組むことをイベント担当者に周知します。※		
	② 前回のイベント(又は類似のイベント)で作成したエコチェックシートを参照し、反省点の改善に努めます。		
	③ 必要に応じて、環境配慮の責任者を決めます。※		
	④ 必要に応じて、環境配慮の知見に詳しい、地域で活動している環境保全団体と連携します。※		
	⑤ イベントの企画・運営等を外部委託する場合や、展示会等で企業・団体等に出展やブースの設置を募る場合には、環境への配慮が適切に行われるよう指示します。		
	【特に大規模なイベント(参加者が1万人を超えるなど)の場合】		
	⑥ 環境配慮のための組織を整えます。※		
⑦ 環境配慮に関する基本方針を決定し、イベント運営の開催要領等に掲載します。※			
その他()			
2 開催場所の決定	① 既存の施設・設備を最大限活用し、新たな施設・設備の設置は必要最小限とします。		
	② 新たに施設・設備を設置する場合、できるだけ土地や自然を改変しないですむ場所を選びます。		
	③ 公共交通機関の利用に配慮し、交通渋滞、騒音等による周辺地域への影響ができるだけ少ない地域とします。		
その他()			
3 広報・案内	① インターネットやメールを活用するなど、チラシ等の紙媒体による広報・案内をできるだけ減らします。		
	② チラシやポスター等の作成部数は、必要量を検討して決定します。		
	③ チラシやポスター等の印刷に当たっては、紙やインキなどは環境に配慮したものを使用します。※		
	④ イベントの開催に当たり、環境に配慮した取組を行っていることをPRし、参加者に向けて、環境に配慮した行動の実践を呼びかけます。※		
その他()			
4 会場設置・準備	① 既存の設備や資材を最大限活用し、新たな設備等の設置や資材の作成は必要最小限とします。		
	② 自然エネルギーなど環境負荷の少ないエネルギーを利用します。※		
	③ 物品等の購入に当たっては、エコマークなどの環境ラベル認定商品リサイクル製品などの環境に配慮した製品や、輸送エネルギーの少ない地元で生産された商品を購入します。※		
	④ 会場で使用するパンフレットや資料については、環境に配慮して作成します。 (「(3)広報・案内」の配慮項目参照)		
	⑤ 発生するごみの種類を前もって検討し、会場に市町村等の収集ルールに応じて分別ごみ箱を設置するか、ごみの持ち帰りを呼びかけます。※		
その他()			

5 交通・ 運搬 手段の 利用	① イベントの広報・案内を行う際に、できるだけ公共交通機関での来場を呼びかけます。※			
	② 公共交通機関の利用が困難な場合や交通渋滞が予想される場合には、交通規制を行い、パーク・アンド・ライド環境の整備やシャトルバスの運行など、効率的な交通手段を準備します。※			
	③ イベントで使用するシャトルバス、資材運搬用車両等は、低公害車などできるだけ環境負荷の少ない車両を利用します。※			
	④ イベントに関係する車両に、アイドリングストップへの協力を要請します。※			
	その他()			
6 イベ ントの 実施 段階	① 冷暖房の温度設定は、原則として冷房28℃、暖房20℃とします。※			
	② 過度な照明や音響は避け、機器スイッチをこまめにON-OFFするなど省エネルギーに努めます。※			
	③ 飲食物や物品を提供・販売する場合には、できるだけ使い捨て容器や包装材などの使用量を減らします。※			
	④ ごみの分別の徹底など、環境配慮の内容を来場者にわかりやすく示し、協力を求めます。※			
	⑤ 植樹や魚の放流などを行う場合は、生態系への影響に配慮します。※			
その他()				
7 撤 収・ 原 状 回 復	① 会場内や会場周辺地域の清掃を行います。			
	② ごみは、市町村等の収集ルールに応じて分別し、適正に処理します。			
	③ イベントに使用した資材や物品等はできるだけ再利用を図ります。※			
	④ イベント終了後、会場及び周辺の環境の状況についてチェックし、問題があれば速やかに回復を図ります。			
その他()				
8 開 催 後 の ま と め	① 実施状況(資源・エネルギー使用量や廃棄物発生量など)をできるだけ定量的に把握します。※			
	② 環境配慮の取組結果を踏まえ、改善点や今後実施することが望ましい項目などを検討し、今後の開催に役立てます。	「○」の数の計	個 [A]	個 [A]
	<反省点及び今後の留意点等>	「○+△+×」の数の計 (※△は結果欄のみ)	個 [B]	個 [B]
		取組率 (A÷B×100)	%	%